

宮城県蔵王地域における地熱資源の開発可能性調査を 3 社共同で開始

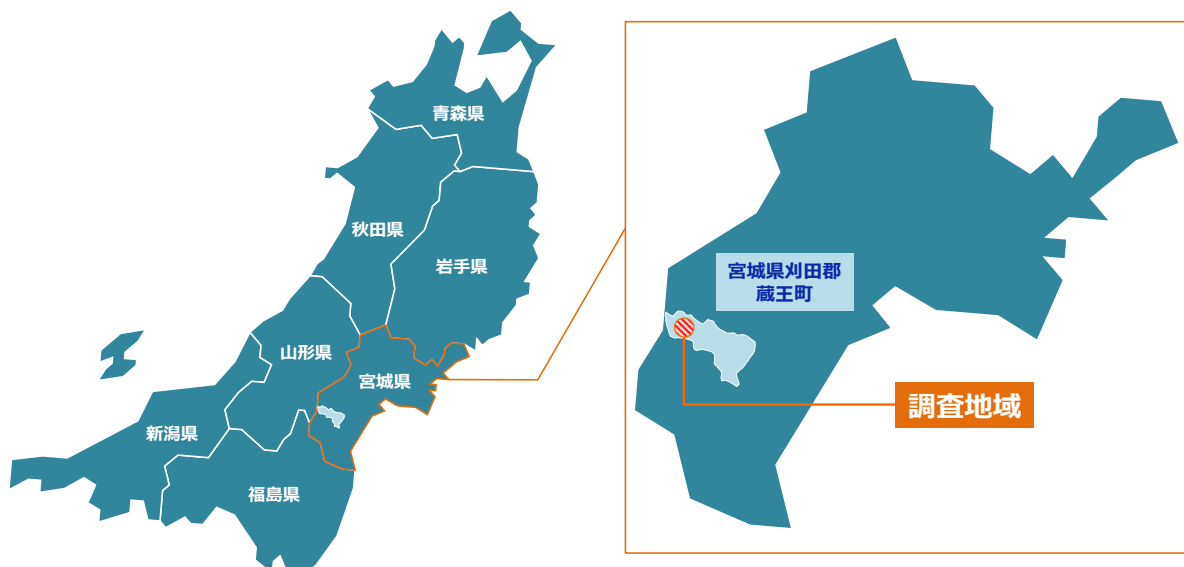
関東天然瓦斯開発株式会社（本社：千葉県茂原市、代表取締役社長：石渡 直尚、以下、当社）は、三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊佐早 禎則、以下、三菱ガス化学）、および三菱マテリアル株式会社（本社：東京都千代田区、執行役社長：田中 徹也、以下、三菱マテリアル）と共同で、宮城県刈田郡蔵王町における地熱資源の開発可能性調査を目的とした共同事業（以下、本調査事業）を開始したことをお知らせいたします。

本調査事業は 2026 年 9 月 11 日に、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（本部：東京都港区、理事長：高原 一郎）より、令和 8 年度地熱発電の資源量調査事業費助成金交付事業（第 3 回公募）として採択されました。

地熱発電は、純国産の再生可能エネルギーであるとともに、天候等によらず安定供給できる「ベースロード電源」としても注目されています。

宮城県蔵王地域では、2021 年度から三菱ガス化学が単独で基礎調査を実施してきましたが、基礎調査により判明した当地域の地熱ポテンシャルの優位性を踏まえ、2026 年 3 月には三菱ガス化学が事業主体となり、当社および三菱マテリアルとの共同事業契約の締結に至りました。今後、それぞれが有する地熱開発事業に関する知見を統合し、3 社で協力して本調査事業を推進してまいります。

本調査事業を通じて地熱開発に関する知見を蓄積するとともに、新たなエネルギー事業の可能性について検討を進めてまいります。また、当社は、K&O エナジーグループの一員として、地域社会との共生を図りながら、エネルギー関連事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



調査位置図

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

関東天然瓦斯開発株式会社 管理部総務グループ TEL：0475-23-1313